

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010030

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	医療機器整備事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	14 国保病院・老健施設		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	更新機器数			#N/A		
事業目標	21機器以上		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 透析装置5台、水処理装置 除細動器 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 CT撮影装置、心電図計 分包機、超音波診断装置 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 一般撮影用医用画像システム 低周波治療器 ナースコール装置更新 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 回診用X線診断装置 X線TV装置 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 昇降浴槽 水圧マッサージ器 車いす 歩行者 自動体交エアマット
	事業費(千円)	195,152	40,650	53,744	48,016	43,700
計 画 事 業 費	国庫支出金	9,450	2,625	2,625		4,200
	道支出金	0				
	地方債	185,500	38,000	51,000	48,000	39,500
	その他	0				
	一般財源	202	25	119	16	42
実 績 事 業 費	事業費(千円)	166,200	27,416	44,550	39,370	45,360
	国庫支出金	6,945	2,625	4,320		
	道支出金	1,312				
	地方債	148,200	23,400	38,200	39,100	38,000
	その他	9,660		2,030	270	7,360
	一般財源	83	79			4
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	国保調整交付金 病院事業債 過疎債	【評価・実績】	●人工透析装置購入 透析装置5台、水処理シス テム全自動溶解装置等一式 ●輸液ポンプ 2台	医療機器購入 CT撮影装置、心電図計、 分包機、腹部エコー、整形用 エコー	医療機器購入 一般撮影用医用画像システム、 低周波治療器、ナースコール装置 X線撮影装置、シリンジポンプ 輸液ポンプ、AED	医療機器購入 回診用X線装置、X線TV装置、 CT用インジェクター、骨塩量測定装置、 リハビリ用牽引装置、 経鼻用内視鏡システム
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-維持/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	8機器以上	4機器以上	2機器以上	2機器以上
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	67%	83%	82%	104%
	全体達成率	14%	37%	57%	80%	
	備考欄					105%
						85%

事業名	医療機器整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	医療機器の老朽化等に伴う更新及び最新医療機器の導入	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	患者のニーズに即した医療機器の整備により、適切な医療の提供をめざす	① 医療機器の整備	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	適切な医療の提供により、町民の健康増進が図られる		目標値 5機
		達成度 100.0%	
		②	目標年度 平成29年度
		目標値 〇〇	実績値 〇〇
		達成度 #DIV/0!%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	医療機器の更新及び導入	入札による購入	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	安定かつ適切な診療体制を維持するため、患者のニーズに即した医療機器の計画的な更新(導入)は必要である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	内科・外科・耳鼻咽喉科・リハビリ・病棟にかかる機器の更新(導入)により、医療支援体制及びサービス提供の向上が図られた
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	更新(導入)機器の選定並びに購入費等の精査を行い、事業費の抑制を図った
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制にかかるものであることから公平である
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
医療機器の計画的な整備により、安定かつ適切な医療サービスの向上が図られている		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町民が安心して医療サービスの提供及び医療機器の経年劣化等に対応するため、計画的に整備を行う必要がある		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 休止 廃止